

「外国につながる生徒」の支援につながる事業が進んでいます

【令和4年7月15日】

本校は「外国につながる生徒」が多く在籍しており、今年度「高等学校等における日本語能力評価に関する予備的調査研究事業」(文部科学省)のモデル校になっております。この事業は、外国につながる生徒たちの日本語能力を正しく把握するために、日本語と母語での作文調査を通じて評価指標づくりを行い、日本語指導・教科指導を充実させようというものです。

※「外国につながる生徒」＝「外国籍の生徒」＋「日本国籍だが外国にルーツをもつ生徒」

7月15日(金)は、本校担当の東京外国語大学・小島祥美准教授に加え、立命館大学・佐野愛子教授にも来校いただき、指導にあたっていただきました。

本校での成果が、全国の高校のお役に立てることを願っています。

